

非核・平和
インタビュー
二ナ・タネンウォルドさん
1面につき

■新原 五〇年代末には、水爆実験反対の国際的抗議のなかで、アイゼンハワー政権はひそかに核軍縮への対応を研究し、解禁文書によると核兵器廃絶案まで内部的には検討されたものの、葬り去られました。

■タネンウォルド そうなんです。当時アメリカ政府も一時期、核軍縮を真剣に考えました。だが国連で米代表がとった態度は見せかけに過ぎず、出てきたのは核実験モラトリアム(一時中止)だけでした。これが六三年の部分的核実験停止条約につながりました。

その点で、核保有国以外の国々と国連が、核兵器強化の流れを抑えるため当時から積極的な役割を果たし、大国にその意思を押しつけつつあったことは重要だと思えます。国連は、核兵器を使用してはならないとする国際規範づくりで重

要な役割を果たしました。核兵器反対世論はベトナム戦争での核兵器使用計画に慎重だったと書いておられますね。

「非核日本宣言」ポスターを全国津々浦々に

政府は「非核日本宣言」を



被爆国日本の政府が「核兵器廃絶と非核3原則」を宣言し、国連と各国に通知することを求めます。非核の政府を求める会

「未来に向かって展望を開く非核日本宣言運動にふさわしい明るいポスター」――「非核日本宣言」意見ポスターが好評です。全国の地域、病院や学校の掲示板、職場のロッカー、自宅の扉や玄関等に張り出し、非核の日本、非核の政治を求める風を巻き起こしましょう。1枚200円。注文数に応じ割引あり。



語り合うタネンウォルドさん(右)と新原さん=4月1日

として批判されましたね。タネンウォルド ベト、この態度を変えたのではな

い、と言おうとしたのだという気がしません。新原 それは状況全体からみれば、核兵器使用を嫌悪する国際世論が、ベトナム戦争で核兵器の使用を許さなかった決定的要素であったということですね。タネンウォルド まさにその通りです。

核廃絶論議の門戸開いた元米高官4氏の訴え

■新原 一昨年六月には世界の核兵器問題の専門家による「ブリクス報告」が出て、核兵器廃絶をよびかけました。昨年と今年の二度、「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙上でギッシンジャー、シュルツ両元米国務長官ら四人の元米高官が、核兵器のない世界を訴えました。こうした最近の注目すべき動きをどう見ておられますか。

■タネンウォルド この動きには二つの異なった動機があると思います。一つは、ブリクス報告に明確に示されている核不拡散条約(NPT)体制への不公平感です。あの条約はバーゲン(核兵器保有を継続したい

核保有国の取り引き、冷戦それには我々が保有国側約束を果いといらす。プリキッシは保守的で、一九とゴルバビックで廃絶の約ったとい産一を表同時に、背景にありアメリカはる相手も的「戦どこの国を

追ナ

と核兵器廃絶をの核保有国のあいだ「き」として結ば中、非核保有国は慢りました。しか変わったのに、核はNPT条約でのたそうとしていなたを強めていまクス報告はそれています。

ンジャーらの訴え立場からのもの八六年にレーガンチヨフがレイキヤもう少しで核兵器束をすることでう「レーガンの遺に出しています。それ以上の感想も

め、ケンブリッジ会から長く待たれ・タネンウォルド核タプー米國と年以降の核兵器不出版された。五年出版予告がなされ

負かすことができます。一方、核兵器はアメリカを戦場で負かすことのできる唯一の兵器になった、小国にとって核兵器は「不均等の穴埋めをしてくれる兵器」となった、それが全世界におけるアメリカの戦力行使の体制にとって妨げとなる

「現実政治」(リアルポリティーク)派の立場から、核兵器をなくすことがアメリカの国益に合致するという見方が出てきたのです。もっとも、キッシンジャーら四人の立場は、かならずしも同じではありません。この中にも、NPT体制の不公平感に理解を示す人がいます。たとえばシュルツは、NPT体制に含まれている偽善は長続きしないと見ています。アメリカにとって核兵器が有用であ

理由がのみこめた。どうしても一度、直接話をしたくて、このインタビュリーになった。ブラウン大学は、アメリカ独立革命前に創立された米國の名門校の一つである。古い伝統と進取の気性がきわだつ同大学の研究室で、大量殺戮兵器である核兵器へのきびしい人道的批判にもとづく彼女の研究の歩みを聞くことができ、やはりここまでできてよかったと思つた。

るならば、他の国が核兵器を持ちたがるのも無理はないという考えなのです。□新原 核兵器のない世界に向けた有力者らの訴えがくり返されていることは、いまこの問題で人類の英知が試されているということではないでしょうか。■タネンウォルド 同感です。いま私たちにはこの問題で指導性が必要です。その点でキッシンジャーらの意見表明は、この問題の議論に門戸を開くもので、きわめて有益です。□新原 タネンウォルドさんは日本はまだですか。■タネンウォルド ええ。いずれぜひ訪問したいと思つています。□新原 八月に広島と長崎においでください。きょうはどうもありがとうございました。

務次長は、「核兵器の現実の使用がくわだてられている時、この本は、世界の最も破壊的兵器の使用に対する人類の本能的反応を、タイムリーに思い出させてくれる出版となった。抑止論に対抗して説得力ある議論を展開している」と賛辞を呈した。インタビュリーにあたり非核の政府を求める会の英文の自己紹介を読んでもらった。タネンウォルドさんはインタビュリーの終わりに、「あなた方の努力を称賛します」と述べた。(新原)

核 日 誌 2008年4月

- 1日 厚労省が原爆症認定の新基準「新しい審査の方針」実施へ。
- 3日 在日米軍への「思いやり予算」に関する現行の日米特別協定を3年間延長する新協定が衆院で自民、公明の賛成多数で可決。
- 5日 ゲーツ米国防長官が訪問先のオマーンでフース国王と会談し、イランの核問題は外交的に解決したいと表明。
- 7日 日本非核宣言自治体協議会が、長崎原爆の日に合わせて、同協議会に加入する自治体から親子を長崎市に招く「親子記者」事業を新たに始めると表明。
- 7日 米海軍横須賀基地への恒久配備が進められている米原子力空母ジョージ・ワシントンが米ノーフォーク基地から横須賀に向け出港。
- 9日 日本被団協、集団訴訟原告団、弁護団が、原爆症認定問題解決に向けた厚労省との第4回協議で、被爆者への謝罪、原告全員の認定、解決金支払いの3点からなる要求書を同省に提出。
- 9日 第1回インド・アフリカフォーラム首脳会議(ニューデリー)が「テリ宣言」で「世界的で、差別のない、検証可能な核兵器の廃絶は世界の安全保障を高める」と指摘、核兵器廃絶に向けた交渉を求める。
- 11日 「原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会」が住民投票条例制定の直接請求署名5万2417人分を横須賀市選管に提出。
- 11日 非核の政府を求める会が外務副大臣と面談し、2010年NPT再検討会議第2回準備委員会と洞爺湖サミットに向けて日本政府が核兵器廃絶のための積極的役割を果たすよう要請。
- 17日 自衛隊のイラク派兵は違憲だとして差し止めを求める「自衛隊イラク派兵差止訴訟」の控訴審で名古屋高裁が、米兵などを輸送する「航空百衛隊の空輸活動は憲法違反」「平和的生存権は憲法上の法的権利」と認める判決を下す。
- 24日 非核の政府を求める会が常任世話人会。
- 24日 米政府が北朝鮮のシリア核開発への協力が昨年9月までであったとの声明を発表。これに対し米紙ワシントン・ポスト(25日)、英紙フィナンシャル・タイムズ(26、27日)が「つまらない見せ物」などと酷評。
- 25日 「九条の会」が記者会見し、地域・職場・分野別の「会」が7000を突破したと発表。
- 28日 2010年NPT再検討会議に向けた第2回準備委員会がジュネーブで始まる。